

発行：徳島県経営戦略部秘書課

〒770-8570 徳島市万代町1丁目1番地 TEL088-621-2020 FAX088-621-2823  
人口743,356人 男354,277人 女389,079人 世帯数308,276世帯 [2017年10月1日現在]

**乳幼児を対象に  
絵本の読み聞かせ**

「0歳から楽しめる、絵本の読み聞かせ」をテーマにした活動する「お話クラブ・カーネーション」。徳島市のブックスタートボランティア有志が集まり、毎月第3木曜日徳島市立図書館でお話を開催しています。



## 親子で楽しくふれあう時間を大切にしたいから。

**地域で支えよう**

地元小学校での読み聞かせや、子育て支援事業への参加など、カーネーション以外の活動にも積極的に参加しています。

「育児で分らない事があっても、誰にも頼らずにインターネットで調べるといってもいいです。そんな時代だからこそ、赤ちゃんと遊ぶ時間、母親同士で話をしたりする機会を増やしてほしい」と天羽さんは話します。

「育児で分らない事があっても、誰にも頼らずにインターネットで調べるといってもいいです。そんな時代だからこそ、赤ちゃんと遊ぶ時間、母親同士で話をしたりする機会を増やしてほしい」と天羽さんは話します。

「育児で分らない事があっても、誰にも頼らずにインターネットで調べるといってもいいです。そんな時代だからこそ、赤ちゃんと遊ぶ時間、母親同士で話をしたりする機会を増やしてほしい」と天羽さんは話します。



お話クラブ・カーネーションは「とくしま子育て大賞」の中の「シニア子育て支援賞」を受賞。「子どもに本を読み聞かせることの素晴らしさを感じ、ご家庭でも実践していただければ」と天羽さん。

**「いい育児の日」キャンペーン**

●日時/11月19日(日)10:00~16:00  
●場所/あすたむらんど徳島(「あさんウォーキングフェスタinいたの」会場内)

**キャンペーン内容**

- 「とくしま子育て大賞」パネル展示
- 消費者庁「子どもを事故から守る」プロジェクトシンボルキャラクター「アプナイカモ」のグッズをプレゼント
- 輪投げコーナー
- 乳幼児向け用品など「キッズデザイン賞」受賞作品の展示

**Go! Go! 子育て応援キャンペーン**

●期間/11月11日(土)~平成30年1月31日(水)  
●パスポートを提示すると、キャンペーンに協賛している店舗・施設で期間限定の特典を受けることができます。

詳しくは [とくしまはぐみネット](#)

次世代育成・青少年課 TEL088-621-2178



長男の亮佑くん、長女の実咲ちゃんと一緒に近所の公園で、「一人ではなく、みんなで楽しむことの大切さも知ってほしい」と勇毅さん。



**イクメン・カジダン 大賞を受賞**

県内の子育てや、子育て支援活動

「育児で分らない事があっても、誰にも頼らずにインターネットで調べるといってもいいです。そんな時代だからこそ、赤ちゃんと遊ぶ時間、母親同士で話をしたりする機会を増やしてほしい」と天羽さんは話します。

**子どもたちの引き出しを増やしてあげたい。** 岩佐勇毅さん・章代さん



**「赤ちゃん授業」で地元の親子と交流**

今年9月、赤ちゃんと高校生との交流を目的とした「赤ちゃん授業」が、那賀高校で開催されました。授業に参加したのは福祉科の2年生と3年生の16名。地域の赤ちゃん親子6組と、イベントをサポーターするボランティアの方々が高校を訪れ、体験と交流を織り交ぜた授業が行われました。

**赤ちゃんのぬくもりを肌で感じる事ができました。** 芳川唯佳さん

**えよう。**

11月19日は「いい育児の日」

今年5月、13県の知事が加盟する「日本創生のための将来世代応援知事同盟」のサミットが徳島で開催され、次世代の支援に向けた「とくしま声明」が採択されました。重要テーマの一つとなっているのが「子育て」。11月19日を「いい育児の日」として定め、育児や家庭について考える機運を高めることとしていいます。今回、高校生からシニアまで各世代の方々に子育てへの想いをお聞きしました。今、子育てをしている人だけでなく、みんなで、家庭や地域における子育ての在り方や未来像を見つめてみませんか。



那賀高校で行われた「赤ちゃん授業」。授業を通し、親の愛情に気付いたり、親への感謝の気持ちが生まれたりすることを目指しています。

**親子の愛情を感じながら**

1時間目の授業では、生後1歳までの赤ちゃんの成長や発達、接し方などについて助産師が分かりやすく説明。原寸大の人形を使い、抱っこやおむつ交換を体験しました。2時間目からは、いよいよ親子との交流を開始。赤ちゃんを抱っこしたり、おもちで遊んだりしながら親交を深めました。「実際に妊娠中のお腹を触らせてもらえたのですが、とても固かったです。自分も母さんになりたいと話すと、川さん「今も赤ちゃんが、次に会う時にどれくらい成長しているのか楽しみです」と笑顔で話してくれました。

徳島県立那賀高等学校3年 芳川唯佳さん

**あわっ子文化大使通信**

あわ文化を次の世代に伝承し、徳島の魅力を県内外に発信する「あわっ子文化大使」のレポートです。

**阿波藍**

●あわっ子文化大使リポーター 上板町立上板中学校 長原 菜凜

私の住む町、上板町は、阿波藍の生産量が全国の約8割を占めています。江戸時代、吉野川には堤防がなく、台風がくる度に洪水が起こり、人々に大きな被害を与えていました。でもその台風により、収穫後の藍畑に上流の肥沃な土を流入させるといい点もありました。また、阿波藍の収穫時期は台風前のため、徳島に適した作物でした。その阿波藍を作る文化は、今でも受け継がれています。私は小学生のとき、とても貴重な体験をしました。自分たちで阿波藍を苗から育て、その藍で藍染めをしました。そのときはハンカチを染めましたが、他にも、Tシャツや傘なども藍で染めることができます。1978年に「阿波藍製造技術」が国の「選定保存技術」として認められ、

**野菜料理+1 プラス ONE**

野菜摂取量UPをめざして

**野菜たっぷりナムル**

★野菜使用量95g エネルギー47kcal(1人分)

- ① やしをゆでる。
- ② にんじんは、太めの千切りにしてゆでる。
- ③ ほうれん草はゆでて冷水にとり、3cmの長さに切る。
- ④ やし、にんじん、ほうれん草を混ぜ、③であえる。

【材料(1人分)】

- やし50g
- にんじん15g
- ほうれん草30g
- 酢 小さじ2/3
- 薄口しょうゆ 小さじ2/3
- みりん 小さじ2/3
- ごま油 小さじ1/4
- すりごま少々

【レシピ提供】那賀町食生活改善推進協議会